

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
610	ドイツ語学講義 <German Linguistics>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
ドイツ文学	小坂 光一(KOSAKA Koichi)		後期	金曜：2限
講義題目 Title	口語理解とリスニング・テクニク			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	ドイツ語によるコミュニケーションにあたっては、相手の発話内容を理解することの他に、相手の心的姿勢を理解すること、自分の心的姿勢を適切に表現することが重要になる。この授業はこれらの能力を身につけるためのものである。			
授業の目的 Purpose	The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to achieve a better performance in the communication. ドイツ語の口語（話しことば）特有の言語現象に焦点を当てて解説すると共に、文成分の配列順、時称の選択、心態詞の選択、リスニング・テクニクなどに関する演習を行う。話しことばの文法を習得すること、及び、その文法に基づいて、話しことばの理解能力を得ることを目指す。			
授業の内容 授業の方法 Content	ドイツ語の口語（話しことば）特有の言語現象に焦点を当てて解説すると共に、文成分の配列順、時称の選択、心態詞の選択、リスニング・テクニクなどに関する演習を行う。話しことばの文法を習得すること、及び、その文法に基づいて、話しことばの理解能力を得ることを目指す。 具体的には： (1) 口語文法の特徴（特に、発音、文体、語彙、時称選択） (2) 口語における文成分の配列順 (3) 会話における「共同構成」現象（先行発話と前域の関係） (4) 心態詞、話法の不変化詞（今学期は疑問文以外で用いられる心態詞を扱う予定） (5) リスニング練習 (6) かなり高度な（上級レベルの）聞き取り練習と表現練習 なお、上記の(4)と(5)はほぼ毎週行う。また、上記(1)と(2)は受講者の顔ぶれによっては省略もあり得る。今学期の練習は前期よりも高度になる。			
教科書 テキスト Textbooks	テキスト 音声教材とプリントを使用する。			
参考書 References	参考書・参考資料等 必要に応じてその都度指定する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	口頭練習が主なので、授業中の練習が最も重要であるが、授業中に指示された項目に関しては自宅での準備が必要になる。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	授業中の貢献度とできれば60% 定期試験（もしくはレポート）40% ただし、通常の授業における練習と試験の内容は連動するので、授業と試験は内容的に一体化している。 5回以上無断欠席をした場合は（履修取り下げをしない限り）自動的に「F（不合格）」になる。			

連絡方法
Contact
information

第1回目の授業でメールアドレスと携帯電話番号を伝える。このいずれかを使った連絡はいつでも歓迎する。